

一 争議団ノ動靜

争議戦ニハ毎日午前九時頃より争議団本部ニ集合シ  
 琵琶其他余興ニ時ヲ過シ昼夕食ノ後出シテ為シ  
 午後五時ニ十分頃警備員ニ名ヲ注シ散會スルヲ  
 例トセルガ十五日ハ東京華工東京鉄工各組合員約四  
 十名未練シ激勵演説ヲ為ス贏テリ一面田中小次  
 郎、成山三郎等ノ應援ニテ一ツレテ結束ヲ保ケワ  
 ヲ下リシガ連日ノ持久戦ニ疲弊シ之故庭ニ不和ヲ生  
 スルモノナル等益々意氣消沈シ解雇ヲ望ムルモノ  
 解雇ヲ望ムル要求スル意嚮ニ傾キワ、ヨリ  
 交渉露出

解部田中小三郎、高橋有吾、石島盛重ニシテ

一 争議団ノ態度

争議団ハ罷業ニ参加セザル職工ノ名ニテ作業ヲ開始  
 セル事トシ態度頗ル強硬ナリシガ争議進行スル  
 ノ不利ナルヲ悟リ釋三例ト交渉ヲ重示速ニ解雇

職団ヲ代表シ十五日會社ヲ訪問小山常務顧問井  
 上高次郎杯ナト會見シ解雇ヲ是認シ解雇者  
 一人ハハ解雇手当一千元元ヲ要求シタルガ會社側  
 ハ一人ニ百圓ヲ主張シ兩者、懸隔甚シク不相容  
 ナリ 又之南東同盟會長松岡的吉、田中小三郎  
 等亦十九日電話ヲ以テ南友顧問井上護士ニ會  
 見方ヲ甲申ニタルハ之利交ハ業紛ニ都合ニテ世相  
 ヲ慮ルムテ二十日ハ本連午後六時より會見タル事